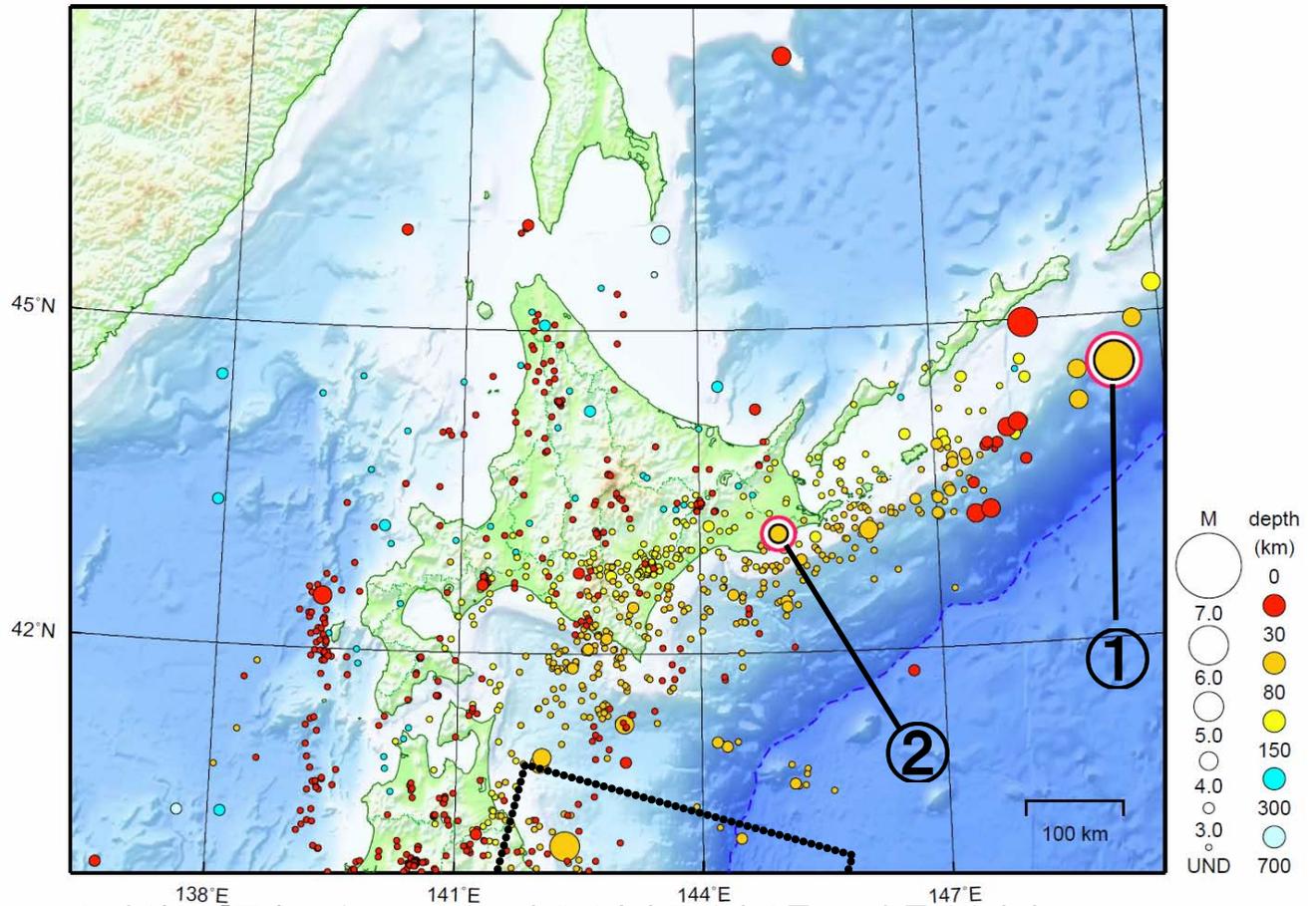


北海道地方

2013/12/01 00:00 ~ 2013/12/31 24:00

N=1301



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

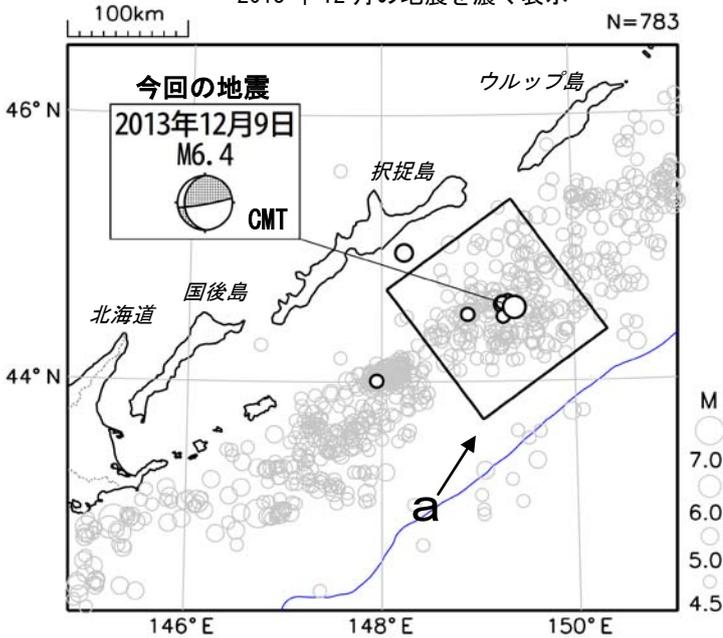
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 12 月 9 日に択捉島南東沖で M6.4 の地震（最大震度 2）が発生した。
- ② 12 月 16 日に釧路地方中南部で M4.6 の地震（最大震度 3）が発生した。

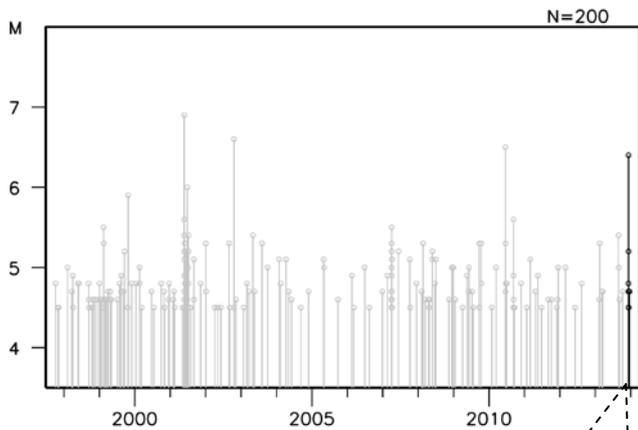
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

12月9日 択捉島南東沖の地震

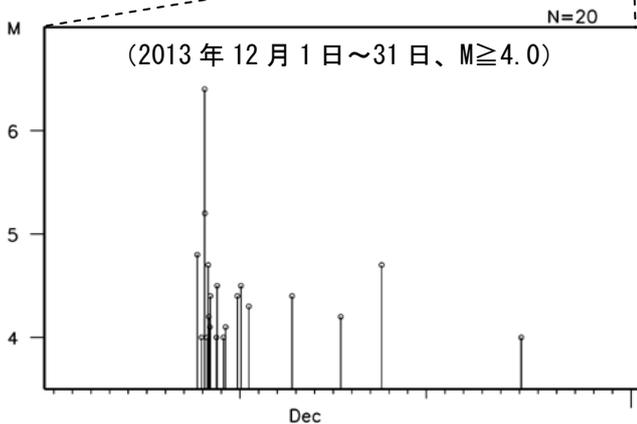
震央分布図(1997年10月1日~2013年12月31日、
深さ0~60km、 $M \geq 4.5$)
2013年12月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図



(2013年12月1日~31日、 $M \geq 4.0$)

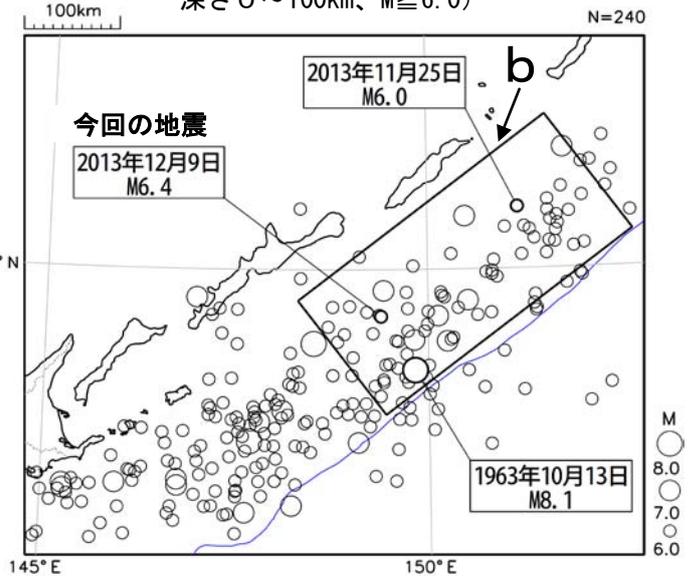


2013年12月9日02時24分に択捉島南東沖で $M 6.4$ の地震(最大震度2)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型である。今回の地震の震央付近では、8日から26日にかけて $M 4.0$ 以上の地震が20回発生した。

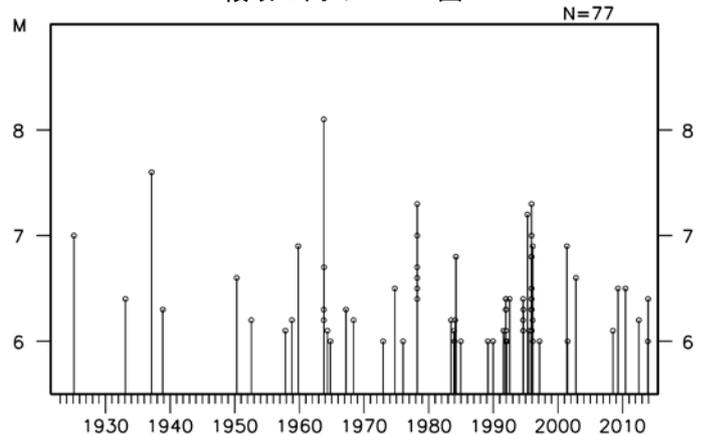
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生しており、1963年10月13日の $M 8.1$ の地震(最大震度4)では、津波が発生し、三陸沿岸で軽微な被害を生じた(「最新版日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
(1923年1月1日~2013年12月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)

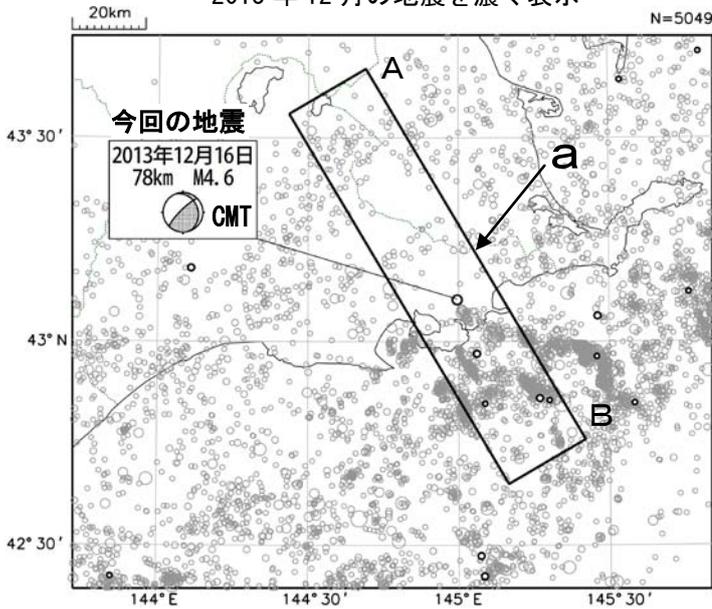


領域 b 内の M-T 図



12月16日 釧路地方中南部の地震

震央分布図 (2001年10月1日~2013年12月31日、
深さ 30~150km、 $M \geq 2.0$)
2013年12月の地震を濃く表示

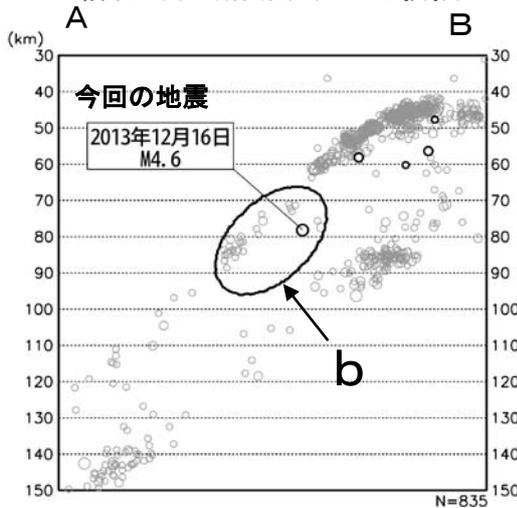


2013年12月16日02時17分に釧路地方中南部の深さ78kmで $M 4.6$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した。発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

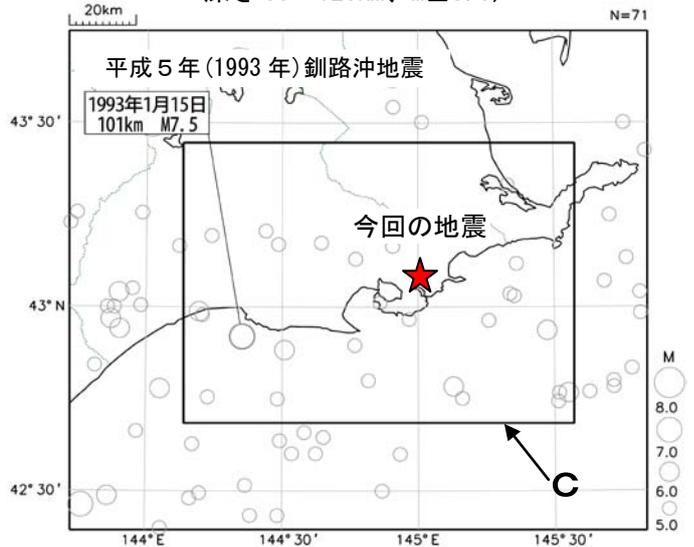
2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 3.0$ 以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1993年1月15日には「平成5年 (1993年) 釧路沖地震」 ($M 7.5$ 、最大震度6) が発生し、死者2人、負傷者967人、住家全半壊308棟などの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

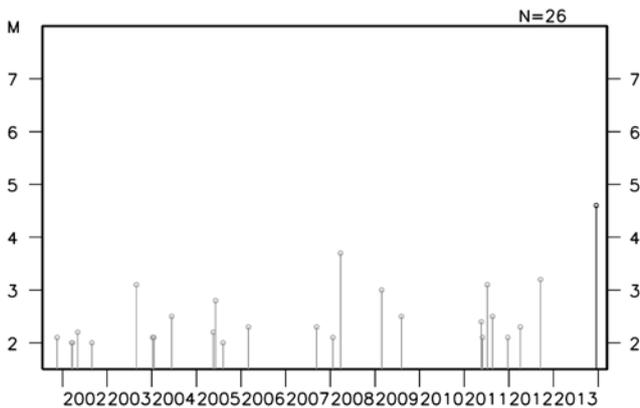
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年1月1日~2013年12月31日、
深さ 60~120km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

